

広報誌をご覧くださいありがとうございます。
この広報誌では社内の取り組みや事例などを紹介いたします。
今回は恵庭センターの製氷機をご紹介します。



2台から3台へ。作業効率と出来高数のアップが見込まれる

恵庭センターにホシザキ製の製氷機が増設され、作業スペースに迫力が増しました。ホシザキ製の製氷機は溶けにくいことが特徴。また薄片氷であるため、冷却物の隅々まで入り込み、くまなく冷却ができることが生鮮食品を取り扱う物流加工業者に喜ばれ、特にブロッコリーの氷詰めでは大きな効果があるようです。

すでに2トンタイプ2台が導入されており、さらに1台増設となったことから1日6トンの氷を作ることができるようになり、作業効率や出来高数の大幅アップが見込まれます。

恵庭センターでは作業場と製氷機が同じフロアにあり、冷蔵庫も隣り合っているため発泡スチロールに目いっぱい詰まった氷が冷えずにすぐさま保管が可能です。丹精込めて栽培した大事な野菜が冷えた状態で全国へお届けできるので生産者の皆さんにとってもメリットが生まれるかと思えます。

社員の負担も軽減

製氷機の増設とともに、新たな装置も導入されました。その装置は製氷時間を制御するタイマーです。今までは社員が時間を見計らって製氷機を起動させていましたが、タイマーを使うことでその場にいなくても製氷機を起動させることができるようになりました。

この点に関しては作業の見直し・効率化・自動化に伴うDXの取り組みの一つとして捉えられるかと思えます。



一言コラム

12025年10月14日にwindows10のサポートが終了します。windows10は2015年7月にリリースされましたので10年の歴史に幕を閉じることになります。サポートが終了すると、セキュリティプログラムの更新がされないため新しいコンピューターウイルスに感染するリスクが高くなります。インターネットを閲覧するブラウザやソフトが使えなくなることもあるため、Windows11にアップグレードしたほうが良いでしょう。また、そのようなOSを使っているパソコンは購入から時間が経っていることもあり、メモリやハードディスクといった物理的な故障も多くなってきます。新しいパソコンに買い替えるということも選択肢に入れておいた方が良いでしょう。windows11に対応していないパソコンでもアップグレードする方法はありますが更新を受けられなかったり、正常に動作しないことがあるため推奨されません。サポート終了が迫っているので対策を考えましょう。

